

報道関係各位

2009年7月21日

構造計画研究所 電波伝搬シミュレータ「RapLab v5」の販売開始

～ 携帯・WiMAX の基地局設計や高速かつ大規模なネットワークシミュレーションに大きな効果を発揮 ～

株式会社 構造計画研究所(本社:東京都中野区、資本金 10 億 1,020 万円、代表取締役社長:服部正太)は、無線関連研究部門、通信機器メーカー向けに、電波伝搬シミュレーションを行うツール「RapLab」(ラプラボ)の最新バージョン「RapLab v5」の販売を 2009 年 8 月 15 日より開始致します。

これにより、構造計画研究所は、電波伝搬の研究者に高度な付加価値サービスを提供していく方針です。RapLab v5 は、以下の展示会でご覧いただけます。

「ワイヤレスジャパン 2009」 7 月 22 日(水)～24 日(金) 於:東京ビッグサイト A-015
<http://www8.ric.co.jp/expo/wj/>

「RapLab v5」の新機能について

3D レイトレース法の電波伝搬シミュレータ「RapLab」に、以下の新機能が加わりました。

- ・MIMO(マイモ)ツール
- ・推定式評価機能
- ・3 層型電波吸収体・誘電体対応
- ・標高・建物データのインポート・エクスポート機能向上
- ・ユーザビリティ向上

MIMO ツール

MIMO 研究に必要な H マトリックスの計算が高速化されました。

MIMO(Multiple Input Multiple Output)は送受信側にそれぞれ複数のアンテナ素子を用いて、通信の高速化・大容量化・高品質化を実現する技術です。RapLab の新しい MIMO モジュールは、送信側と受信側で各 1 個のアンテナ位置に対するレイトレース計算のみを行い、その結果を利用して各アンテナ素子の結果を求めることによって、計算を飛躍的に高速化することが可能になりました。

推定式評価機能

推定式結果、実測値、レイトレース結果の比較を行うことが可能になりました。

実測データを読み込み、シミュレーション結果と比較することが可能になりました。

また、製品に含まれる一般的な推定式(FreeSpace、Two-Ray)だけでなく、任意の推定式の定義が可能です。

3 層型電波吸収体・誘電体対応

異なる材料特性を 3 層まで重ね合わせて解析を行う事が可能になりました。

電波吸収体は電磁波の吸収・遮蔽のために、誘電体は電気の絶縁体として利用されています。RapLab v5 では背面が金属に裏打ちされた「3 層型吸収体」、背面が真空になっている「3 層型誘電体」の解析が可能となりました。

なお、本機能の開発には青山学院大学橋本修教授にご協力いただきました。

標高・建物データのインポート・エクスポート機能向上

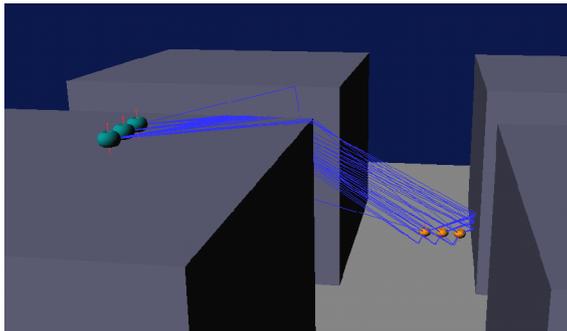
Shape ファイル(Polygon、PolygonZ)の読み込み・保存が可能になりました。

標高データ(国土地理院)、建物データ(Shape 形式 または ゼンリン ZmapTown)の読み込みが可能になりました。また、モデルデータを Shape 形式で保存できます。

その他ユーザビリティ向上

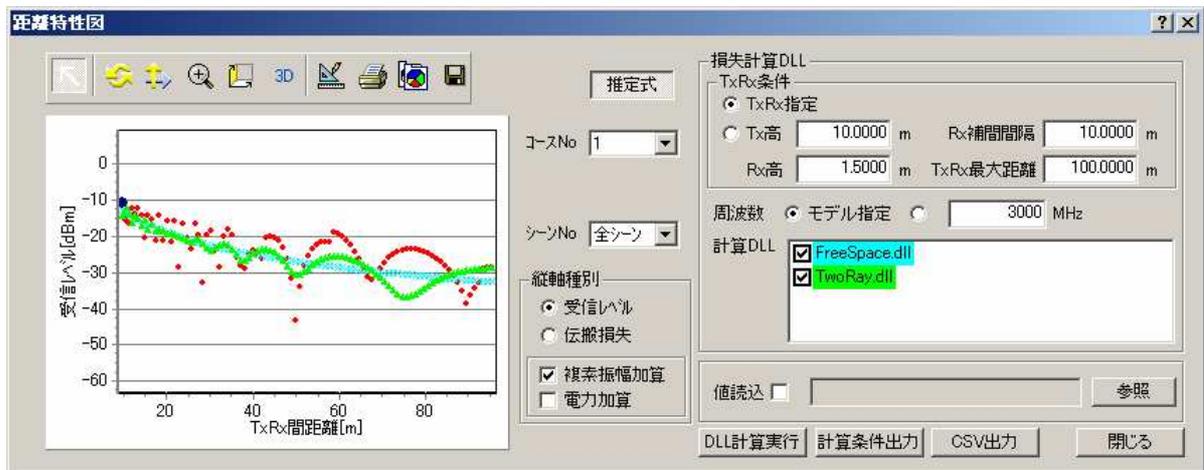
その他以下の機能が追加され、より一層使いやすくなりました。

- ・コンソール版による実行
- ・計算対象建物絞込による高速化
- ・見通しを考慮した計算
- ・計算対象 Rx 絞込機能
- ・ポイントデータ CSV 入出力機能
- ・複数シーン生成機能

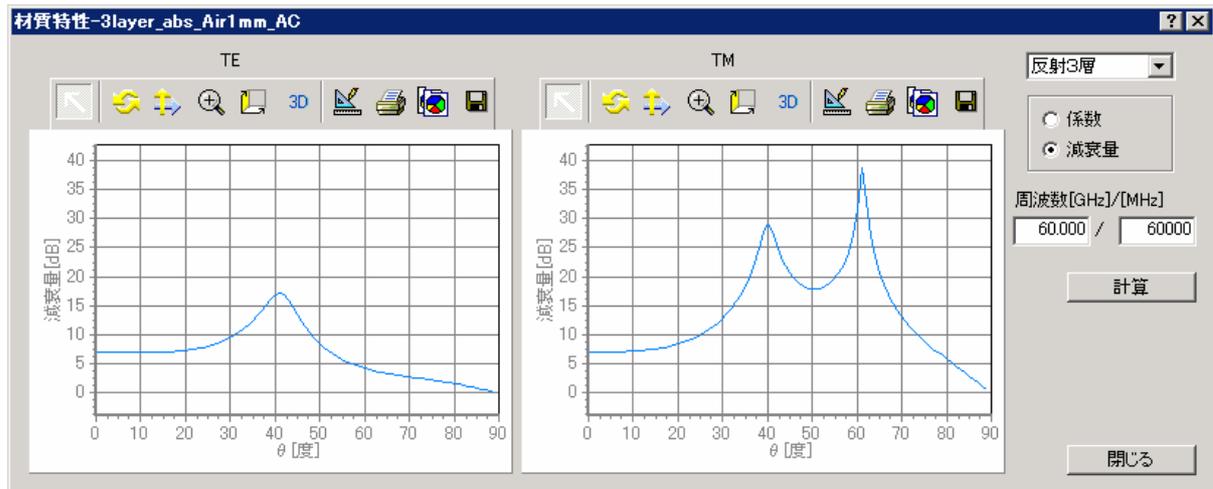


	h(1,1)		h(1,2)		...	
VV	-9.7E-05	-0.00031	-5.9E-05	-0.00014	-0.00019	5.22E-05
VH	1.04E-11	1.74E-11	1.32E-11	9.97E-12	1.89E-11	2.93E-12
HV	2.7E-14	3.6E-14	2.5E-14	2.6E-14	2.5E-14	1.6E-14
HH	2.94E-11	1.25E-11	7.16E-12	3.38E-11	-2.6E-11	4.81E-11
ALL	-9.7E-05	-0.00031	-5.9E-05	-0.00014	-0.00019	5.22E-05
VV	1.24E-05	-3.4E-08	-1.5E-05	1.3E-05	6.08E-07	1.72E-06
VH	-7.1E-12	1.5E-13	-5.1E-12	2.87E-12	-2.9E-12	6.5E-12
HV	-1E-15	0	-1E-15	1E-15	0	1E-15
HH	9.85E-12	-3.5E-12	-6.5E-12	-6.7E-12	-5.1E-12	8.63E-12
ALL	1.24E-05	-3.4E-08	-1.5E-05	1.3E-05	6.08E-07	1.72E-06

MIMO ツール



推奨式評価機能



3層型電波吸収体の材料特性

販売価格(予定)

基本パッケージ 1ライセンス:300万円(税別)、アカデミック価格:45万円(税別)

MIMOパッケージ 1ライセンス:450万円(税別)、アカデミック価格:70万円(税別)

その他オプション価格の設定があります。

本件に対するお問い合わせ先

・ニュースリリースの内容に関して

株式会社構造計画研究所 情報・通信営業部 天野健二、小松明子

TEL:03-5342-1121 FAX:03-5342-1221 e-mail:raplabml@kke.co.jp

<http://www4.kke.co.jp/raplab/>

・ニュースリリースの配信に関して

株式会社構造計画研究所 広報担当 佐藤仁宣、松本飛鳥

TEL:03-5342-1032 FAX:03-5342-1222 e-mail:kkeinfo@kke.co.jp

<http://www.kke.co.jp>

構造計画研究所および、構造計画研究所のロゴは、株式会社構造計画研究所の登録商標です。その他、記載されている会社名、製品名などの固有名詞は、各社の商標又は登録商標です。

当社では、お客様企業から発表のご承認をいただいた案件のみを公表させていただいております。ニュースリリースに記載された情報は、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。